

2024年6月

公益社団法人 神奈川県病院協会  
会長 吉田 勝明 様

株式会社神奈川新聞社  
代表者名：代表取締役社長 須藤 浩之

『2024年がん征圧キャンペーン』特集へのご協力をお願い

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別なるご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、神奈川新聞社では、今年も9月のがん征圧月間に、がん征圧に対する県民の意識向上を図ることを目的とした「2024年がん征圧キャンペーン」特集の掲載を予定しております。これは弊社が例年、貴会のご協力にて特集しているもので、日本人の死亡原因第1位である「がん」に立ち向かうため、「がん治療の今」や「がん検診の大切さ」を広く県民に伝えることを目指した企画です。この特集に対する読者の期待は大きく、弊社としてもその期待に応えるべく全力で取り組む所存でございます。

つきましては日夜、県民の健康維持に努められております貴会のご協力を是非、賜りたくお願いする次第でございます。趣旨ご賢察の上、ご高配賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

2023 がん征圧月間キャンペーン特集

KEYWORD

※1 がん罹患患者数 厚生労働省、国立がん研究センターが2022年に公表した「2019年の全国がん登録」によると、新たにがんと診断された人は99万9,075人に上った。

※2 HPVワクチン ヒトパピローマウイルスのワクチン。小学校6年から高校1年相当の女性を対象に定期接種が行われている。対象年齢の間に接種を逃した人のために、公平な接種機会を確保するため、対象年齢を超えて接種を行う「キャッチアップ接種」も行われている。



※3 1型糖尿病、2型糖尿病 1型糖尿病は、主に自己免疫学的仕組みにより、インスリンを分泌する膵臓のβ(ベータ)細胞が破壊され、インスリンが出なくなるために高血糖状態となる糖尿病。本来外敵から体を守るための免疫が、間違えてβ細胞を標的にしてしまい、破壊してしまう。詳しい原因はまだ分かっていない。2型糖尿病は、生活習慣病としてよく知られる糖尿病のこと。遺伝的な体質(インスリン分泌低下、インスリン抵抗性)に過食、運動不足、肥満が加わることでより起こる。食事の改善や適度な運動に、薬を上手に組み合わせるといった治療が重要になる。

※4 「糖尿病とがんに関する委員会報告」日本糖尿病学会と日本癌学会による合同委員会は、糖尿病とがん罹患リスクや予後などに関する検討を行い、2013年7月に委員会報告を発表した。

※5 がんの治療法 がん治療には、大きく分けて手術治療、薬物療法(抗がん剤治療)、放射線治療の三つがある。どれか一つを行うこともあれば、二つ以上の治療法を組み合わせることもあり、がんの種類や進行度、再発治療が2回目以降かなどによって、治療法が変わる場合もある。

早期発見、予防のポイント ー早期発見の重要性についてお聞かせください。 遠藤 ます、先ほどの高井先生のお話に補足をさせていただきます。がんは、血糖値以外の糖尿病の方のうち、11%を肝臓がんと膵臓がんが占めています。共に、見つけにくい点で共通しており、肝臓がんの生存率は30%、まだ治療のすべがありませんが、膵臓がんは10%未満という、かなり良くない数字です。そして、沈黙の臓器と呼ばれる肝臓。ウイルス性肝炎に起因する肝臓がんは、定期的な受診でのフォローアップで早期発見が可能です。脂肪肝をベースにした、糖尿病に多い肝臓がんは、定期的な超音波検査を受けていないため早期発見が難しいのです。膵臓がんはさらに深刻で、ステージ1で見つけることはほとんど不可能といわれています。

早期発見でどうしたら膵臓がん、肝臓がんを見つけてお聞かせください。 寺内 糖尿病の患者さんの場合、血糖値以外に「ちよつと変だな」と感じる点があれば積極的に相談できる関係が、かかりつけ医の先生との間で築いていただきたいですね。それが検査を受けるきっかけ、早期発見にもつながります。そして、検診で何か危険信号が見つかったら、迷わず精密検査を受けてください。そのための風土づくりや仕組みづくりに、神奈川県医師会が先頭になって取り組むたいと思います。



がんも糖尿病も「早く見つけること」に尽きる 神奈川県医師会 理事 笹生 正人医師

早期発見、予防のポイント ー早期発見の重要性についてお聞かせください。 遠藤 ます、先ほどの高井先生のお話に補足をさせていただきます。がんは、血糖値以外の糖尿病の方のうち、11%を肝臓がんと膵臓がんが占めています。共に、見つけにくい点で共通しており、肝臓がんの生存率は30%、まだ治療のすべがありませんが、膵臓がんは10%未満という、かなり良くない数字です。そして、沈黙の臓器と呼ばれる肝臓。ウイルス性肝炎に起因する肝臓がんは、定期的な受診でのフォローアップで早期発見が可能です。脂肪肝をベースにした、糖尿病に多い肝臓がんは、定期的な超音波検査を受けていないため早期発見が難しいのです。膵臓がんはさらに深刻で、ステージ1で見つけることはほとんど不可能といわれています。

早期発見でどうしたら膵臓がん、肝臓がんを見つけてお聞かせください。 寺内 糖尿病の患者さんの場合、血糖値以外に「ちよつと変だな」と感じる点があれば積極的に相談できる関係が、かかりつけ医の先生との間で築いていただきたいですね。それが検査を受けるきっかけ、早期発見にもつながります。そして、検診で何か危険信号が見つかったら、迷わず精密検査を受けてください。そのための風土づくりや仕組みづくりに、神奈川県医師会が先頭になって取り組むたいと思います。



今や糖尿病は「治る病気」根元よく治療を 神奈川県医師会 理事 高井 昌彦医師

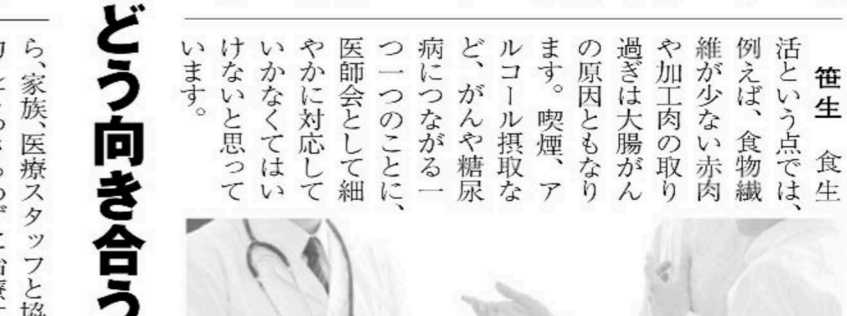
病気・治療とどう向き合うか ー一方、がんや糖尿病に罹ってしまった場合は、どのように病気と向き合えば良いのでしょうか。 遠藤 一つ言えることは、今はがんを過度に恐るも分かつては良い時代だといえます。がん全体の生存率は60%以上で、「がん死」という時代は過去のものだといえます。手術以外にもさまざまな治療法(※5)がありますから、家族、医療スタッフと協力してあきらめずに治療することが大切です。ご自分にとってより良いと思われる治療を選択するために、セカンドオピニオンの活用なども有効だと思います。寺内 患者さんのまわりには、家族はもちろん、例えば看護師や薬剤師、管理栄養士や検査のプロである検査技師など、さまざまな専門スタッフたちがいます。

病気・治療とどう向き合うか ー一方、がんや糖尿病に罹ってしまった場合は、どのように病気と向き合えば良いのでしょうか。 遠藤 一つ言えることは、今はがんを過度に恐るも分かつては良い時代だといえます。がん全体の生存率は60%以上で、「がん死」という時代は過去のものだといえます。手術以外にもさまざまな治療法(※5)がありますから、家族、医療スタッフと協力してあきらめずに治療することが大切です。ご自分にとってより良いと思われる治療を選択するために、セカンドオピニオンの活用なども有効だと思います。寺内 患者さんのまわりには、家族はもちろん、例えば看護師や薬剤師、管理栄養士や検査のプロである検査技師など、さまざまな専門スタッフたちがいます。

病気・治療とどう向き合うか ー一方、がんや糖尿病に罹ってしまった場合は、どのように病気と向き合えば良いのでしょうか。 遠藤 一つ言えることは、今はがんを過度に恐るも分かつては良い時代だといえます。がん全体の生存率は60%以上で、「がん死」という時代は過去のものだといえます。手術以外にもさまざまな治療法(※5)がありますから、家族、医療スタッフと協力してあきらめずに治療することが大切です。ご自分にとってより良いと思われる治療を選択するために、セカンドオピニオンの活用なども有効だと思います。寺内 患者さんのまわりには、家族はもちろん、例えば看護師や薬剤師、管理栄養士や検査のプロである検査技師など、さまざまな専門スタッフたちがいます。



病気・治療とどう向き合うか ー一方、がんや糖尿病に罹ってしまった場合は、どのように病気と向き合えば良いのでしょうか。 遠藤 一つ言えることは、今はがんを過度に恐るも分かつては良い時代だといえます。がん全体の生存率は60%以上で、「がん死」という時代は過去のものだといえます。手術以外にもさまざまな治療法(※5)がありますから、家族、医療スタッフと協力してあきらめずに治療することが大切です。ご自分にとってより良いと思われる治療を選択するために、セカンドオピニオンの活用なども有効だと思います。寺内 患者さんのまわりには、家族はもちろん、例えば看護師や薬剤師、管理栄養士や検査のプロである検査技師など、さまざまな専門スタッフたちがいます。



病気・治療とどう向き合うか ー一方、がんや糖尿病に罹ってしまった場合は、どのように病気と向き合えば良いのでしょうか。 遠藤 一つ言えることは、今はがんを過度に恐るも分かつては良い時代だといえます。がん全体の生存率は60%以上で、「がん死」という時代は過去のものだといえます。手術以外にもさまざまな治療法(※5)がありますから、家族、医療スタッフと協力してあきらめずに治療することが大切です。ご自分にとってより良いと思われる治療を選択するために、セカンドオピニオンの活用なども有効だと思います。寺内 患者さんのまわりには、家族はもちろん、例えば看護師や薬剤師、管理栄養士や検査のプロである検査技師など、さまざまな専門スタッフたちがいます。

毎年9月は「がん征圧月間」です。

がん征圧月間 スローガン

都道府県がん診療拠点病院 がんゲノム医療拠点病院 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター 重粒子治療件数 3,150件 (2023年8月31日時点) 電話 045-520-2222 (代表) 平日8:30~17:15 〒241-8515 横浜市旭区中尾二丁目3番2号 相鉄線二俣川駅北口から徒歩約15分 患者専用無料シャトルバスあり

学校法人 総持学園 鶴見大学歯学部附属病院 病院長 小川 匠 横浜市鶴見区鶴見 2-1-3 ☎045-580-8500(代) 神奈川がん診療連携指定病院 社会医療法人社団三思会 東名厚木病院 がん相談支援センター 直通ダイヤル 046-229-2552 平日9:00~16:00 〒243-8571 神奈川県厚木市船子 232 TEL 046-229-1771

横浜薬科大学 YOKOHAMA UNIVERSITY OF PHARMACY 薬学(16年制) 健康増進学(4年制) 薬学(4年制) 薬学(5年制) 薬学(6年制) 薬学(7年制) 薬学(8年制) 薬学(9年制) 薬学(10年制) 薬学(11年制) 薬学(12年制) 薬学(13年制) 薬学(14年制) 薬学(15年制) 薬学(16年制) 薬学(17年制) 薬学(18年制) 薬学(19年制) 薬学(20年制) 薬学(21年制) 薬学(22年制) 薬学(23年制) 薬学(24年制) 薬学(25年制) 薬学(26年制) 薬学(27年制) 薬学(28年制) 薬学(29年制) 薬学(30年制) 薬学(31年制) 薬学(32年制) 薬学(33年制) 薬学(34年制) 薬学(35年制) 薬学(36年制) 薬学(37年制) 薬学(38年制) 薬学(39年制) 薬学(40年制) 薬学(41年制) 薬学(42年制) 薬学(43年制) 薬学(44年制) 薬学(45年制) 薬学(46年制) 薬学(47年制) 薬学(48年制) 薬学(49年制) 薬学(50年制) 薬学(51年制) 薬学(52年制) 薬学(53年制) 薬学(54年制) 薬学(55年制) 薬学(56年制) 薬学(57年制) 薬学(58年制) 薬学(59年制) 薬学(60年制) 薬学(61年制) 薬学(62年制) 薬学(63年制) 薬学(64年制) 薬学(65年制) 薬学(66年制) 薬学(67年制) 薬学(68年制) 薬学(69年制) 薬学(70年制) 薬学(71年制) 薬学(72年制) 薬学(73年制) 薬学(74年制) 薬学(75年制) 薬学(76年制) 薬学(77年制) 薬学(78年制) 薬学(79年制) 薬学(80年制) 薬学(81年制) 薬学(82年制) 薬学(83年制) 薬学(84年制) 薬学(85年制) 薬学(86年制) 薬学(87年制) 薬学(88年制) 薬学(89年制) 薬学(90年制) 薬学(91年制) 薬学(92年制) 薬学(93年制) 薬学(94年制) 薬学(95年制) 薬学(96年制) 薬学(97年制) 薬学(98年制) 薬学(99年制) 薬学(100年制)

生活習慣病防止運動を推進します。 ツルミ印刷株式会社 Economy and Ecology 〒230-0034 横浜市鶴見区寛政町9-4 TEL 045(508)6686 FAX 045(508)7955 http://www.tsurumi-p.co.jp

一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院 病院長 熊切 寛 〒252-0802 藤沢市高倉 2345 TEL 0466-44-1451 医療総合会社 望星サイエンス株式会社 〒243-0036 厚木市長谷260-29 ☎046-270-6051(代表)

SHIBAHASHI Tel. 045-312-5700 www.shibahashi.co.jp TOHO GROUP 株式会社 東邦グループ 横浜市中央区住吉町 2-24 KYビル8F TEL 045-201-4600

1 かながわがん対策募金のお願い がん患者の方、ご家族の方、そして早期発見・予防のために。みなさまの善意はこのような事業に役立てられます。 2 がん患者 家族への支援 小児がん患者・がん教育への支援 がんの早期発見 がんに対する理解の促進 ※がんにかかる人は二人にひとり 公益財団法人 かながわ健康財団 がん対策推進本部 (公益財団法人日本対がん協会提携団体) 〒231-0037 横浜市中区富士見町3-1 (神奈川県総合医療会館内) http://www.khf.or.jp/gan/index.html

座談会

現代が抱える二つの重要疾患

がんと糖尿病の関係とは

2023 がん征圧月間キャンペーン特集

がん検診の受診率向上を

日本人の死亡原因のトップはがんで、死因の27.6%を占めている(2020年)。その中でも呼ばれている。共に国が定める「重要疾患」に数えられているこの二つの病気に、共通した危険因子など深い関係があることが明らかになってきた。今回は、それらの専門の立場から、横浜市立大学の遠藤格副学長と寺内康夫医学部長、神奈川県医師会から若生正人、高井昌彦副理事の4人に登場いただき、二つの疾患の特徴や傾向、治療への臨み方などについてお話しいただいた。

司会・神奈川新聞社取締役編集局長 秋山理紗



「がん=死」は過去の話 あきらめずに向き合おう  
横浜市立大学 医学部長  
大学院医学研究科 分子内分・糖代謝内科学教授  
寺内 康夫 医師  
「でらうち・やすお 2005年より現職。専門は糖尿病学。日本糖尿病学会リリー賞、日本内分泌学会研究奨励賞、ヘルツ賞(他5名の共同受賞)受賞。現在、日本糖尿病・肥満動物学会理事などを務める。」



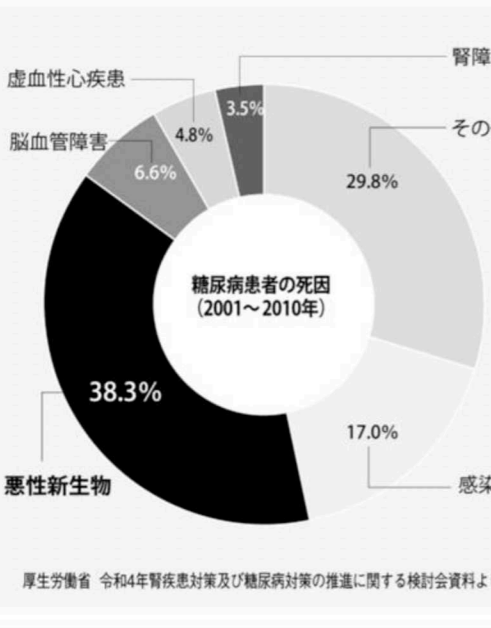
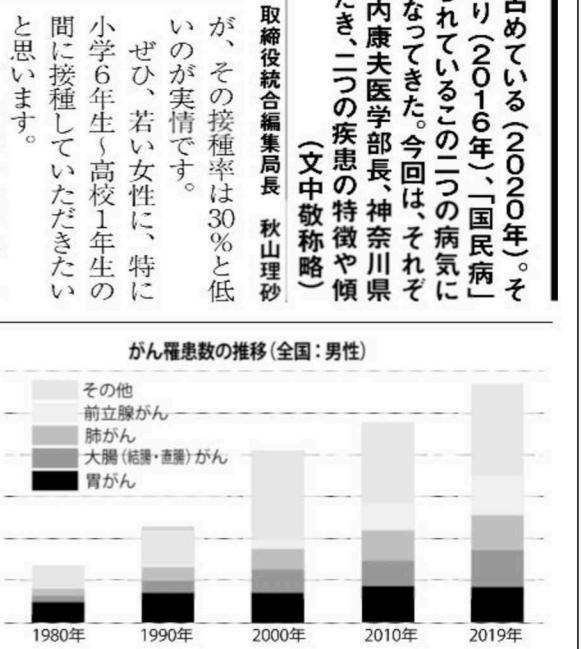
「がん=死」は過去の話 あきらめずに向き合おう  
横浜市立大学 副学長  
大学院医学研究科 消化器・腫瘍外科学教授  
遠藤 格 医師  
「えんどう・いたる 2009年、横浜市立大学大学院消化器・腫瘍外科学講座主任教授に就任。16年、同大学付属病院長、18年、同大学副学長・理事就任。日本肝臓病学会理事。」

危険因子の一つであるウイルス性肝炎のウイルスを駆除する薬が普及したことが大きく影響している。2019年には、およそ99万9千人の方ががんを診断されました。今後は、男性の65%、女性の51%ががんに罹る時代です(※1)。

「がん検診の重要性についてはいかかでしょうか。」「がん検診には「対策型検診」と「任意検診」(11面参照)があります。」「対策型検診は検診を行うことで対象集団の死亡率が下がることが明らかになっています。」「遠藤 せひ、ご紹介したいトピックスがあります。」「臓器がんは最も治りにくいがんの一つですが、広島県尾道市では、尾道総合病院と地域の医療機関が連携して行われています。」「今後の大きな課題は受診率の向上です。現状では受診率50%を超えているのは男性の肺がん検診(53.4%)のみです。」「寺内 糖病には1型と2型があり(※3)、さまざまな原因で起こる病気だといいますが、まず知っていただきたいです。」「よく知られているのは2型ですが、血糖値のコントロールを怠るとインスリンという物質が適切に分泌されなかつたり、インスリンは

「がん検診の重要性についてはいかかでしょうか。」「がん検診には「対策型検診」と「任意検診」(11面参照)があります。」「対策型検診は検診を行うことで対象集団の死亡率が下がることが明らかになっています。」「遠藤 せひ、ご紹介したいトピックスがあります。」「臓器がんは最も治りにくいがんの一つですが、広島県尾道市では、尾道総合病院と地域の医療機関が連携して行われています。」「今後の大きな課題は受診率の向上です。現状では受診率50%を超えているのは男性の肺がん検診(53.4%)のみです。」「寺内 糖病には1型と2型があり(※3)、さまざまな原因で起こる病気だといいますが、まず知っていただきたいです。」「よく知られているのは2型ですが、血糖値のコントロールを怠るとインスリンという物質が適切に分泌されなかつたり、インスリンは

「糖病とはどんな病気なのか。また、がんとの関係についてお伺いしたいと思っています。」「寺内 糖病には1型と2型があり(※3)、さまざまな原因で起こる病気だといいますが、まず知っていただきたいです。」「よく知られているのは2型ですが、血糖値のコントロールを怠るとインスリンという物質が適切に分泌されなかつたり、インスリンは



「糖病とはどんな病気なのか。また、がんとの関係についてお伺いしたいと思っています。」「寺内 糖病には1型と2型があり(※3)、さまざまな原因で起こる病気だといいますが、まず知っていただきたいです。」「よく知られているのは2型ですが、血糖値のコントロールを怠るとインスリンという物質が適切に分泌されなかつたり、インスリンは

「糖病とはどんな病気なのか。また、がんとの関係についてお伺いしたいと思っています。」「寺内 糖病には1型と2型があり(※3)、さまざまな原因で起こる病気だといいますが、まず知っていただきたいです。」「よく知られているのは2型ですが、血糖値のコントロールを怠るとインスリンという物質が適切に分泌されなかつたり、インスリンは

「糖病とはどんな病気なのか。また、がんとの関係についてお伺いしたいと思っています。」「寺内 糖病には1型と2型があり(※3)、さまざまな原因で起こる病気だといいますが、まず知っていただきたいです。」「よく知られているのは2型ですが、血糖値のコントロールを怠るとインスリンという物質が適切に分泌されなかつたり、インスリンは

「糖病とはどんな病気なのか。また、がんとの関係についてお伺いしたいと思っています。」「寺内 糖病には1型と2型があり(※3)、さまざまな原因で起こる病気だといいますが、まず知っていただきたいです。」「よく知られているのは2型ですが、血糖値のコントロールを怠るとインスリンという物質が適切に分泌されなかつたり、インスリンは

がん、その予防についての正しい知識の徹底と早期発見・早期治療の普及に全国の組織をあげて取り組みます。(順不同)

Advertisement for cancer screening featuring a grid of logos for various medical associations across Kanagawa Prefecture, including Yokohama, Sagami, and Sagami Prefecture associations.

## 2024年がん征圧キャンペーン特集企画案

掲載日：2024年9月中旬＝予定

紙面内容： 4頁

記事 8 段  ・患者会の方のお話 ・がんに関する情報 ・その他	記事 8 段×2ページ  ・医師や医療関係者による座談会や対談 ☞最新のがん治療について&検診情報についての発信を行う。	記事 8 段  ・県医師会会長様ご挨拶 抄文 ☞近年のがんの特徴や、がん検診の重要性について発信する。	
広告7段	広告7段	広告7段	広告7段

### 1面（フロント）

- ・ 県医師会会長様ご挨拶
- ・ 近年のがんの増加傾向やがん検診の重要性
- ・ その他

### 2・3面（見開き）

- ・ 「最新のがん治療」をテーマに専門医数名の座談会で、従来の3大治療に加え実施可能となった最新の治療を紹介していただきます。

### 4面（終面）

- ・ 患者会の方などに、がんに関する情報や自身の経験などのお話をおうかがいいたします。

#### 【お問い合わせ】

神奈川新聞社 クロスメディア営業局

広告部 デジタル部 松浦 伶

電話：080-4427-1703 / メール：r-matsuura@kanagawa-shimbun.jp